



SANUMA

VOL46

週報

佐沼ロータリークラブ



ロータリーの未来は
あなたの手の中に

THE FUTURE OF ROTARY
IS IN YOUR HANDS

2009-2010年度 国際ロータリーのテーマ

例会場 サンシャインプラザ21 ☎22-8988
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
事務所 サンシャインプラザ21 ☎22-8988

(2009~2010年度)

会長 二階堂 學
幹事 菅 原文之
会報 氏 家 良 典 秀 義 弥
小 竹 秀 敏 富士原 裕 子

第2244回例会 2010. 2. 25 No.29

本日の出席率

- ・本日の出席率 69.38%
- ・前回確定出席率 78.3%

ニコニコボックス

- ・二階堂學会長 本日のスピーチ、三浦孝次郎会員です。よろしくお願いします。
- ・阿部泰彦会員 布施孝文君の日大歯学部合格おめでとうございます。布施孝之会員、お孫さんの代まで頑張ってください。
- ・菅原文之幹事 妻の誕生祝にお花をいただき、大変よろこんでいました。ありがとうございます。
- ・阿部賢悟会員 多くの会員のご協力のお陰で、登米コミュニティエフエム局の予備免許が2月23日、東北総合通信局より交付されました。周波数は76.7メガヘルツに決定致しました。4月開局に向けて頑張りますので、よろしく。
- ・三浦孝次郎会員 本日のスピーチ担当です。よろしくお願いします。
- ・飯塚仁哉会員 三浦孝次郎会員のソフトな語り口からどんな話が聞けるのか楽しみです。
- ・高田次雄会員 この2~3日は春の陽気です。暖かいということは本当に良いことです。景気の方もゆるんでほしいと願っている一人です。本日の三浦孝次郎会員のスピーチ勉強させて下さい。
- ・鈴木彦太会員以下、三浦孝次郎会員のスピーチ、楽しみにご期待申し上げます。

布施孝之会員 佐々木崇会員 阿部泰彦会員
氏家良典会員 山田直志会員 佐竹孝行会員
佐藤静市会員 遠藤光則会員 猪股育夫会員
佐々木源悦会員 熊谷敏明会員 小泉洋会員
高橋利光会員 山田正会員 二階堂敏雄会員

富士原裕子会員 武川毅会員
以上、ありがとうございました。

会長要件 二階堂學会長

ロータリーでは、1月はロータリー理解推進月間、2月は世界理解月間であり、ロータリーを理解しようということでもあります。ロータリーの友1月号にポール・ハリスの「合理的ロータリアニズム」というのが載っており読みました。「寛容」がロータリーの存在価値になっていると言っております。ロータリーが今までやってこられたのは、寛容にもとづいており、この寛容という精神で、100年のロータリーの航海が、荒波で危険があり、困難がありという中で自らの職業を巧みに導いてきたということでもあります。寛容というのは、他人の信念に対する人間的な思いやりであるということと、理性的(道徳的)な寛容との2つであると。従って、「寛容」という言葉は、ロータリーの神髄ではなかるうかと思っております。寛容があるからこそ、お互いに我慢し合うというところでやってこられたと思えます。

世の中は刻一刻と変化しております。やはり、活動も時代に即応したものでなければならないということでもあります。今、環境の問題を一例をあげますと、それに因んで考えていこう、あるいは、環境の問題で行動しようということになります。

人間が生きていくためにというようなことを考えると、利己主義(自分)、利他主義(相手)をうまく使って、この上に高い水準を考えることがロータリーには必要なのだということを言っております。

国際ロータリーの使命があります。「私たちは、他者に奉仕し、高潔性を推進し、事業と専門職種及び地域社会のリーダー間の親睦を通じて、世界理解、親善、

平和を推進する」と。これが実行されるのは、来る7月からであります。従来の使命と本質的には変わらないとして、中核となる価値観にならって、高い倫理的基準が「高潔性」に変わりました。

・高潔性(Integrity)：私たちロータリアンは、職業奉仕をはじめ、あらゆる奉仕活動及び人間関係において、道徳性や倫理性のある高い立場を保って行動しています。私たちは「四つのテスト」に示されているように、誠実、信頼、善意、正直、公平、寛容、友情などを保持し、それを高めるように行動すべきです。この高潔性こそ、私たちロータリアンが最も大切にすべきものです。

・親睦(Fellowship)：親睦は、奉仕活動と共に、ロータリー活動の中心をなすものです。親睦は、奉仕の理想に基づいて、人と人との心の触れ合いを実践するものです。この実践が、人格の向上、人生を豊かにし、視野を広げていくものです。ロータリー活動は、人を愛し、人と触れ合い、人を育てることを目的とした人道的奉仕活動です。

・奉仕(Service)：奉仕は、ロータリー活動の本体をなすもので、最も重要な基盤となるものです。ロータリーの先駆者達が奉仕の理念を提唱して以来、100年にわたって各種奉仕活動が続けられてきました。これは、地域のニーズに応じて、社会の変化に適應できる機能的な奉仕活動を行い、我々は、地域社会の中で信頼される魅力ある奉仕を継続していく必要がある。

なかなか理解しがたいものでありますが、世界理解月間に際し、ロータリーの理解に努力したいと思っております。

幹事報告 菅原文之幹事

- ・宮城県環境生活部より
第3回レジ袋の使用削減推進会議の案内
日時 3月4日(木) 午後1時30分~
場所 石巻合同庁舎 501会議室
- ・IM(3月13日)、地区大会(4月11日)の出席をとっています。名簿を回しますので、出欠を記入して下さい。

◎感謝状授与

高田次男会員 米山功労者(第5回)

今週のスピーチ

三浦孝次郎会員

今日は、私どもが取り組んでいる事業について、お話ししたいと思います。

その事業は「登米市建設業活力再生協議会」と称し、登米市で建設業と産業廃棄物処理業、行政、大学などが協力し、地域資源を活かした新ビジネスを立ち上げることを目標にしております。

テーマは3つあり、建設発生土の有効活用、河川や道路で刈り取った草などを炭化・肥料・エタノール化して実績販売をする、地域を見直した街づくりの3つです。この事業は、国土交通省の「建設業と地域の元気回復助成事業」ということで、2,000万円の補助金を国からいただきました。採択を受け、22年度

中にこれら3つのテーマについて、業界が潤い、又なおかつ地域が活性化し、雇用安定、増大につながる仕組みを作るために、産学官共同で知恵を出し合い、又、地元の皆様の知恵をおかりしながら、ワーキンググループで検討し事業化に向けて進むというのが本来の目的でございます。

この3つの事業を紹介しますと

1. 建設発生土循環システム。これは、登米市で発生した土を、高度な土質改良をして土を再利用するというものです。当クラブの佐藤幸一会員も、この協議会に参加しており、地域を活かした資源でありますから、宮城石灰の石灰を土壌改良に使用し、土を再利用します。
2. 登米市には、河川、道路、耕作放棄の土地がたくさんあり、草がぼうぼうと生え、視界が悪い、又は環境に悪いということで、そういった所の草を刈り取り、その草をバイオエタノール、いわゆる油化し、現在ある油と混合し、油の精製を試みる。これに関しましては既に機械を発注し、出来ております。このコンパクトな機械を利用して、バイオエタノール化する事業です。
登米市に於きましても、地からの賜りものである草を再利用して、炭化、エタノール化、場合によっては肥料化にも出来るという事業システムを構築するという事です。一般廃棄物もこの機械でエタノール化できるということです。
3. 地域活性化ワーキンググループ。これは、地域を見直した「まちづくり」です。非常に幅広いテーマで、どの分野から手をつけたらよいのか迷っております。又、新しく町をつくるというのではなく、今ある町を見直して活性化するという事業です。これが本格化しますと長い日数を要する事業、地域の皆様から応援をいただかなくてはならない事業でもあります。そういうことで、皆様のお手元に昭和初期頃の一市通りの写真と、昭和後半の夏祭りの写真を配布しましたので、ご覧いただきたいと思えます。皆様のご記憶にあると思えますが、お祭りで大変にぎわっております。お祭りは神社に関係あり、八日町~一市通りの様に二つの異なった神社がある通りは全国的に珍しいとのこと。これから、こういった特徴ある地域を活かした町づくりをしつらよいのではないかと提案もありません。

以下、紙面の都合上、割愛させていただきます。



高田次雄会員に感謝状(米山功労者)